学校番号	3005

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅱ	2	第２学年	be English Logic and Expression II Clear （いいずな書店） be English Logic and Expression II Clear Workbook （いいずな書店）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 論理・表現Ⅱでは外国語学習の中でも特に「話すこと［やり取り］」「話すこと［発表］」「書くこと」といった発信力に力を入れて学習していきます。
② 外国語の知識・技能を養うだけでなく、思考したり表現したりするための言語能力を身につけていきます。
③ 物事に対して自分の考えや意見を持ち、それを表現できる論理的思考を養います。積極的に英語を使って自分の考えや意見を発表しようという意欲が必要です。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・駅や空港などの短いアナウンスなど自分に必要な情報をゆっくりはっきりと聞くことにより、理解することができる。 ・教科書の英文を聞き、重要な部分を把握できる。 ・英語による他者の発表のおおまかな内容が把握できる。	・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。 ・英語コミュニケーションⅡ程度の英文を読み、概要を理解できる。 ・辞書を適切に使いながら、極力自力で文章の概要を理解できる。	・フレーズ単位で話すことができる。 ・簡単な語や表現を使って、お互いの意見交換(賛成か反対かどう思っているかなど)をすることができる。 ・英語らしい英単語の発音ができる。	・簡単な語や表現を使って、身近な話題に関して自分の意見を紹介することができる。 ・簡単な語や表現を用いて、自分の気持ちを表現することができる。 ・英語らしいリズムで話すことができる。	・身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を書くことができる。 ・50 語程度の英文を書くことができる。 ・第一学年で学習した基本的文法事項を使うことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で，概念等として理解したり，技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力，判断力，表現力等を身につけている。	知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取組の中で，自らの学習を調整しようとしている
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Lesson1 Your Interests Lesson2 Your Daily Life Lesson3 Your School Life	聞くこと	a: 趣味やクラブ活動・日常生活・学校生活に関する文を理解している。 b: 趣味やクラブ活動・日常生活・学校生活に関する必要な情報を聞き取っている。 c: 趣味やクラブ活動・日常生活・学校生活に関する必要な情報を聞き取ろうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 時制、不定詞（名詞用法）・動名詞・名詞節・助動詞などの用法を使った文を理解し、内容を読み取る技能を身につけている。 b: 趣味やクラブ活動・日常生活・学校生活ついて書かれた文章を読んで概要を捉えている。 c: 趣味やクラブ活動・日常生活・学校生活について書かれた文章を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 趣味やクラブ活動・日常生活・学校生活を題材にコミュニケーションを円滑にする言葉の働きを理解している。 b: 趣味やクラブ活動・日常生活・学校生活を題材に、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができる。 c: 趣味やクラブ活動・日常生活・学校生活を題材に、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合おうとしている。	スピーキング テスト
		話すこと （発表）	a: 趣味やクラブ活動・日常生活・学校生活を題材にコミュニケーションを円滑にする言葉の働きを理解している。 b: 趣味やクラブ活動・日常生活・学校生活を題材に、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができる。 c: 趣味やクラブ活動・日常生活・学校生活を題材に、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えようとしている。	スピーキング
		書くこと	a: 時制、不定詞（名詞用法）・動名詞・名詞節・助動詞などの用法を理解し表現できる。 b: 時制、不定詞（名詞用法）・動名詞・名詞節・助動詞を正しく用い書くことができる。 c: 時制、不定詞（名詞用法）・動名詞・名詞節・助動詞を正しく用いた文で書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 4 Media Literacy	聞くこと	a: ソーシャルメディア・ボランティア活動・自分の住む町や地域に関する文を理解している。 b: ソーシャルメディア・ボランティア活動・自分の住む町や地域について、必要な情報を聞き取っている。 c: ソーシャルメディア・ボランティア活動・自分の住む町や地域について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	リスニングテスト
	Lesson 5 Helping Others	読むこと	a: 分詞の形容詞的用法・形容詞句・関係代名詞・関係副詞を使った文を理解し、内容を読み取る技能を身につけている。 b: ソーシャルメディア・ボランティア活動・自分の住む町や地域について書かれた文章を読んで概要を捉えている。 c: ソーシャルメディア・ボランティア活動・自分の住む町や地域について書かれた文章を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
	Lesson6 Introducing Your Town	話すこと （やり取り）	a: スピーチ原稿をつくるための基本的な構成方法や，スピーチをする際に求められる態度を理解する。 b: ソーシャルメディア・ボランティア活動・自分の住む町や地域について、論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができる。 c: ソーシャルメディア・ボランティア活動・自分の住む町や地域について、論理の構成や展開を工夫して伝え合おうとしている。	スピーキング テスト

		話すこと （発表）	a: スピーチ原稿をつくるための基本的な構成方法や，スピーチをする際に求められる態度を理解する。 b: ソーシャルメディア・ボランティア活動・自分の住む町や地域について、論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。 c: ソーシャルメディア・ボランティア活動・自分の住む町や地域について、論理の構成や展開を工夫して伝えようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 分詞の形容詞的用法・形容詞句・関係代名詞・関係副詞の用法を理解し表現できる。 b: 分詞の形容詞的用法・形容詞句・関係代名詞・関係副詞を正しく用い書くことができる。 c: 分詞の形容詞的用法・形容詞句・関係代名詞・関係副詞を用いた文で書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	期末考査			
後期	Lesson7 Languages of the World Lesson8 Imagining the Future Lesson9 Happiness and Stress Lesson10 Comparing Countries Lesson11 Cultural Diversity	聞くこと	a: 世界の言語・未来への想像・幸福・ストレス・データの比較・文化の多様性といった内容の文を理解している。 b: 世界の言語・未来への想像・幸福・ストレス・データの比較・文化の多様性の内容について、必要な情報を聞き取っている。 c: 世界の言語・未来への想像・幸福・ストレス・データの比較・文化の多様性の内容について必要な情報を聞き取ろうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 副詞・副詞節・不定詞（副詞用法）・分詞・原級・比較級・最上級を使う比較・仮定法について学んで理解する。 b: 世界の言語・未来への想像・幸福・ストレス・データの比較・文化の多様性の内容について書かれた文章を読んで概要を捉えている。 c: 世界の言語・未来への想像・幸福・ストレス・データの比較・文化の多様性の内容について書かれた文章を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと (やり取り)	a: プレゼンテーションによく用いられる表現方法を理解し、プレゼンテーションの例を声に出して読んだりできる。 b: 世界の言語・未来への想像・幸福・ストレス・データの比較・文化の多様性の内容について、論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができる。 c: 世界の言語・未来への想像・幸福・ストレス・データの比較・文化の多様性の内容について、論理の構成や展開を工夫して伝え合おうとしている。	スピーキング テスト
		話すこと （発表）	a: プレゼンテーションによく用いられる表現方法を理解し、プレゼンテーションの例を声に出して読んだりできる。 b: 世界の言語・未来への想像・幸福・ストレス・データの比較・文化の多様性の内容について、論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。 c: 世界の言語・未来への想像・幸福・ストレス・データの比較・文化の多様性の内容について、論理の構成や展開を工夫して伝えようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 副詞・副詞節・不定詞（副詞用法）・分詞・原級・比較級・最上級を使う比較・仮定法などの用法を理解し表現できる。 b: 世界の言語・未来への想像・幸福・ストレス・データの比較・文化の多様性の内容について、複数の段落からなる文章で書くことができる。 c: 世界の言語・未来への想像・幸福・ストレス・データの比較・文化の多様性の内容について、複数の段落からなる文章で書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			

	Lesson12 Japanese Customs Lesson13 Population Issues Lesson14 Rights and Equality Lesson15 Think Globally, Act Locally	聞くこと	a: 日本の文化・人口問題・権利と平等・世界の問題といった内容の文を理解している。 b: 日本の文化・人口問題・権利と平等・世界の問題といった内容について、必要な情報を聞き取っている。 c: 日本の文化・人口問題・権利と平等・世界の問題といった内容について、必要な情報を聞き取ろうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 要求や必要,認識を表す表現・時制の一致・話法・存在や変化の表現・使役動詞・知覚動詞・無生物主語や受動態を使った文を理解し、内容を読み取る技能を身につけている。 b: 日本の文化・人口問題・権利と平等・世界の問題について書かれた文章を読んで概要を捉えている。 c: 日本の文化・人口問題・権利と平等・世界の問題について書かれた文章を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 意見を出し合ったり，情報を交換し合ったりする表現方法や，議論の態度を理解する。 b: 議論の例を声に出して読んだり，実際に議論したりする。 c: 日本の文化・人口問題・権利と平等・世界の問題について、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合おうとしている。	スピーキング テスト
		話すこと （発表）	a: 意見を出し合ったり，情報を交換し合ったりする表現方法や，議論の態度を理解する。 b: 議論の例を声に出して読んだり，実際に議論したりする。 c: 日本の文化・人口問題・権利と平等・世界の問題について、論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 要求や必要,認識を表す表現・時制の一致・話法・存在や変化の表現・使役動詞・知覚動詞・無生物主語や受動態などの用法を理解し表現できる。 b: パラグラフの基本的な構成方法や，注意点を理解する。 c: パラグラフの基本的な構成方法や，注意点を理解し、複数の段落からなる文章で書こうとしている。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度